
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2007年10月10日号

©2007年8月油糧・食用油市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2007年8月における油糧・食用油市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

1 国産油糧は供給不足、輸入油糧・食用油は増加

国産食用油の生産不足により、長期にわたり輸入に依存して食用油需要を満たしてきたが、特に最近2年間は国内大豆、菜種とも減産が続いて国内油糧の供給不足が深刻となり、油糧・食用油の輸入が増加した。とりわけ、大豆油と菜種油の輸入は大きく増加した。海関統計によると、2007年1～7月の中国の油糧累計輸入量は前年同期比2%増の1,743万トンとなった。食用油の累計輸入量は、前年同期比23.2%増の428万トンとなった。そのうち輸入大豆及び菜種は、それぞれ2.6%増の1,688万トン及び4.6%増の44.4万トン、輸入大豆油及び菜種油は、それぞれ56.2%増の133.4万トン、40.9倍増の16.6万トンとなった。2007/08年度の輸入植物油及び輸入油糧による油は、国内食用油消費総量の半分前後を占めると予測され、国内市場に対し大きな影響を与えるものとみられている。

2 世界の油糧及び食用油生産は需要を満たさず、国際価格は高水準で推移

米国農務省（USDA）の8月の予測によると、世界の油糧生産量は減少、圧搾量は増加、期末在庫量は大幅に減少、市場価格は上昇とされる。2007/08年度（10月～翌年9月）の世界の油糧生産量は、前年度比3.4%減の3.913億トンと予測されている。主に大豆及びヒマワリ種子の大幅減少によるものとされる。世界の油糧輸入量は7.3%増の8,575万トン、油糧圧搾量は3.0%増の3.395億トン、世界の油糧期末在庫量は20.2%減の5,772万トンとみられている。供給の減少は国際油糧価格を高水準へと押し上げ、カナダの菜種を例にとると、8月末における9月出航予定のカナダ発中国向け菜種のCNF（C&F価格、1990

年の国際商業用語改正後はCFR価格：運賃込み価格＝FOB価格＋運賃）は1トン当たり485ドルで、前月比2.3%高、前年同月比56.5%高とされる。

世界の植物油生産量は、その伸びが消費の伸びを満足することができず、植物油の在庫量は減少し、国際価格は高水準で推移するとされる。2007/08年度の世界の植物油生産量は、前年度比3.8%増の1.258億トンと予測されている。うち大豆油、菜種油、パーム油の生産量は大幅に増加するとみられている。世界の植物油消費量は、3.9%増の1.259億トン、輸入量は2.3%増の4,795万トン、在庫量は10.1%減の766万トンと見積もられている。今年に入って植物油価格は全体に高水準で騰落し、南米の未精製大豆油価格は、8月始めに高騰後下落し、8月末には前月比0.2%安、前年同月比56.4%高の1トン当たり868ドルとなった。また、マレーシアのパーム油（融点24℃）価格は前月比3.4%安、前年同月比67.3%高の778ドルとなった。

3 国内油糧・植物油価格は大幅に上昇

国際油糧需給の逼迫に加え、8月は新収穫菜種の買い付けが基本的に終わり、春アブラナ及び大豆が未収穫で、供給の端境期に当たることから、国内の油糧・植物油価格が高騰した。品目別の状況は次のとおりである。

【菜種】8月末の安徽省の菜種の工場買取価格は1トン当たり3,875円で、前月比5.3%、前年同月比45.3%となった。同時期にカナダから中国に着港した輸入菜種の通関渡し価格（Duty Paid：CIF＋関税等）に比べ、630元前後安かった。

【菜種油】菜種価格の上昇に伴い、菜種油価格も持続的に上昇し、8月中旬には1トン当たり9,300元に達して年内最高を記録した。8月末の浙江省、安徽省の菜種油の工場出荷価格は9,150円で、前月比5.2%高、前年同月比63.4%高となった。

【落花生】8月末の山東省の中等搾油用落花生の工場買取価格は1トン当たり7,300円で、前月比4.3%高、前年同月比31.5%高となった。

【落花生油】今年に入り、落花生油価格は比較的高い水準にある。8月末における山東省の4級落花生油の工場出荷価格は1トン当たり14,200円で、前月比1.4%高、前年同月比57.8%高となり、最近10年で最高を記録した。

【大豆油】国内及び国際的な大豆の減産に加え、菜種油の持続的な上昇もあり、8月の大豆油価格は高位上昇し、年内最高となった。8月末における山東省の4級大豆油の工場出荷ベースのオファー価格は1トン当たり8,500円で、前月比3.0%高、前年同月比53.6%高となり、同時期の南米の未精製大豆油の通関渡し価格に比べ、1トン当たり50元前後高

かった。

【パーム油】ここ何カ月かは国内パーム油需要が強く、支持価格の上昇もあって、8月初めの天津港におけるパーム油（融点24℃）のオファー価格は、1トン当たり8,300円に至り、現在の価格は高水準で上下する動きを示している。8月末の天津港におけるパーム油（融点24℃）のオファー価格は7,950～8,050円で、前月比0.9%高、前年同月比62.3%高となった。